

## 「#12部活動」を活用した教室活動案

このダイアログの目標「自分の子ども時代の学校生活や習い事について、そのときの夢や気持ちといっしょに話す」の達成に加え、ダイアログ中の話題展開の分析を通して、雑談中の話題の展開の仕方を意識させることをねらいとした活動案です。ダイアログ内容の理解を確認するパートの⑤⑥で、談話構成に注目させるところがポイントです。談話構成への注目は、B1レベルのコミュニケーション言語活動に求められる、ある程度のまとまりをもった話ができるようになるために必要です。

### <ダイアログ/Dialogue>

ソフィア : あ、田中さん。おはようございます。週末はいかがでしたか。

田中 : 子どもの野球の試合、見に行ってたんだ。

ソフィア : お子さん、野球やってるんですか。

田中 : そうそう、部活でね。

私も中学も高校もずっと野球部だったから、楽しかったよ。

ソフィアさんは何か部活やってた？

ソフィア : 部活じゃないんですけど★1 9歳から18歳まで地域のクラブでバレーボールをやってました。★2 オリンピックの選手に憧れて、その選手みたいになりたいって思って始めたんです。

田中 : へえ、それは知らなかったなあ。



## ＜授業の流れ＞

ウォーミングアップ（導入）	<p>① 今日のトピック・授業内容の紹介 学校生活で夢中になったもの・ことは何かあるか</p> <p>② 日本の部活に関する読み物や動画を見る</p> <p>③ 日本の部活の仕組み・用語、放課後の過ごし方について確認</p> <p>④ Can-do の確認 子供時代の習い事や学校生活などについてその当時の夢などと関連付けながら、友人に話すことができる（JF009_経験や物語を語る_B1）</p>
ダイアログ内容の理解	<p>① 場面を確認した後、内容を理解するために【ダイアログ】（図4）を聞く（複数回）</p> <p>② 内容確認の【クイズ】で確認する</p> <p>③ 表現を確認するために【ダイアログ】を聞く</p> <p>④ キー表現の確認、練習</p> <p>⑤ <u>談話の流れを理解するために【ダイアログ】を聞く</u></p> <p>⑥ <u>会話のトピックがどのように変化していったか確認（週末の話題→部活の話題）</u></p>
話す活動	<p>① 学生時代の習い事、きっかけを思い出し、整理し（個人作業）、ペアで話し合う（母語でOK）</p> <p>② どんな談話の展開で部活の話題になったか話し合う（全体→ペアで） 【ダイアログ】ではどのような流れで部活の話題になった？ → 自分の息子の部活の話から、自分自身の部活の話をして、ソフィアさんにも部活の話題をふる</p> <p>③ ソフィアさんの立場になって、田中さんの「何か部活やってた？」の質問に答えてみる</p> <p>④ ペアで会話を考え、練習・修正（会話例をもとにしても、自分たちではじめから自然な流れを作ってもよい）</p> <p>⑤ 発表（グループまたは全体で）</p> <p>⑥ Can-do の達成の確認</p>

下記参考資料より一部改変して掲載しています。

## 参考資料

菊岡由夏・山本実佳・須摩亜由子・西島阿弥子・山岸愛美・湯本かほり（2024）「JF 日本語教育スタンダードを活用した生活者向けダイアログ教材の開発と活用－「Learn Japanese from the News」の関連コンテンツとして－」『国際交流基金日本語教育論集』20号、pp. 37-49.